

感謝と夢

飯野高校

榎本

ジェシカ

私はブラジル生まれで、十歳の時に日本に
来ました。十四歳までブラジル人学校に行っ
ていました。子どもころから医者になる夢
を持っていましたので、ブラジル人学校でも一生
懸命勉強し、良い成績をのこしました。しか
し、二〇〇九年から日本の経済が不景気にな
って、父は仕事を失い経済的に大変になりま
した。家では二人ぐらし、私と父だけです。
今まで父はがんばってくれましたが、毎月五
万円かかるブラジル人学校には行くことがで
きなくなりました。その時は何万人もブラジ
ルに帰っていきうことをききました。た
けど私たちは帰るつもりもなく、日本でがん
ばることになりました。私は仕事をして家計を
たすけることも考えました。が、父は勉強を止
めたいごほしいと言ってました。そして
日本の中学三年生に入ることにしました。
日本の中学ではおぼろしいと思っただけでも何

度もありませんでした。あきらめたい気持ちも少なくなかったです。今まで日本語を一切話すことができなかった私は、急に社会、国語など全部の科目をうけることになりました。その時、外国人は私だけでしたので、特別教室などにはありませんでした。しかし、それは命令です。授業に参加したり、友達を作りたい、みんなに私の気持ちを伝えたいと、とてもがんばれるようにになりました。そして少しずつ楽しくなりました。

その年の秋、そろそろ高校を選ぶ時期になりました。私にいけない高校はあるのだろうか？と悩んでいました。そんな時、友達が飯野高校を紹介してくれました。私は荻野に住んでいたので、飯野高校に着くまで2時間かかることが、最初は父に反対されました。でも最終的には父はわかってくれて、私は飯野高校に入学しました。

その時から私の人生が大きく変わりました。

飯野高校では仲間がたくさんでさ、素敵な先生たちとも出会って、毎日楽しくすごしました。日本語もどんどんうまくなり、自信を持って大学入試にチャレンジしました。日本とブラジルの架け橋になりたいという夢を目標にがんばりました。私はこの春から自分の夢へ一歩進みます。関西大学に合格できたのは自分の努力の結果です。これからも大変なことがいっぱいあると思いますが、がんばらちいといけなれと思っていきます。これは、今まで出会った先生たち、学校の仲間、アルバイトの仲間が一生懸命私を応援してくれたおかげです。本当に良い勉強、良い経験ができました。これから自信を持って色々なことにチャレンジしていきます。